

会 議 等 結 果 報 告 書

会議区分	会 議 ← 打合せ → 協 議	文書番号	安政推第 号
		決裁期日	令和8年7月17日
名 称	令和8年度 第1回安平町未来創生委員会		
日 時	令和8年7月13日 午前・ 午後 3時00分～5時10分		
場 所	総合庁舎 大会議室 (オンライン有)		
出 席 者	委 員 未来創生委員会委員7名 外部有識者 3名 安 平 町 事務局(政策推進課) 4名		
会議概要	1 開会 ◇過半数以上の参加により委員会が成立していることを宣言 ◇委員長挨拶 2 自己紹介 ◇委員の変更について(委員辞任1名) ◇事務局の変更について(人事異動により2名) 3 議事 (1) 前回の振り返りと本日の議題の確認について ◇資料に基づき説明：事務局 ◇質疑応答要旨 <質問者> ・なし (2) 第2次安平町総合計画の進行管理について ◇資料に基づき説明：事務局 ◇質疑応答要旨 <A委員> ・安平地区で歯科医院の建設が進んでいると聞いている。 <事務局・B委員> ・既に棟が上がった状態 ・減少した歯科医療体制が、令和8年度中には回復する見込みと期待している。 <A外部有識者> ・「ふるさと教育・学社融合事業」の実施回数が減少している。 <事務局> ・単なる活動の停滞ではなく、事業内容を精査し、例えば「5年生の河川学習を町の水道インフラの視点へ繋げる」といった質の向上や効率化を図った結果である。 <B外部有識者> ・「生涯学習フェスティバル事業」の参加者が増えている。 <事務局> ・行政主導だけでなく、町内の文化・スポーツ団体による自発的な活動が活発化しており、多様な世代が参加している。 <B委員> ・町道の舗装率が10年前からほぼ横ばい(63.6%)である。 ・住宅建設が進んでいる地域でも未舗装の箇所があり、春先の路面状況の悪化が生活課題となっている。		

<事務局> ・第3次総合計画において、適切な指標を検討する。
(3) 安平町デジタル田園都市国家構想総合戦略の進行管理について ◇資料に基づき説明：事務局 ◇質疑応答要旨
<C委員> ・直近の人口増（社会増）が、非常に高い数値である要因は。
<事務局> ・これまでの早来地区中心から、直近では追分地区への流入が増えている実態が見られる。
<A委員> ・ラピダス進出の影響等で千歳市内の地価高騰（安平町の約10倍との見方）や、JRや高速道路の利便性が高い追分地区が「住宅地」として選ばれている実感がある。
<事務局> ・広い敷地を確保し、庭やサウナを楽しむような、ゆとりある住環境を求める移住者の姿が具体例として語られた。
(4) 令和8年度における追加的物価高騰対策事業について ◇資料に基づき説明：事務局 ◇質疑応答要旨
<質問者> ・なし
(5) 第3次安平町総合計画策定について ◇資料に基づき説明：事務局 ◇質疑応答要旨
<D委員> ・早来地区の子ども園等の過密（手狭感）が課題となる一方で、遠浅地区の体育館等の既存施設が活用しきれていない。
<事務局> ・移動手段の確保を含め、町内の施設を「面」として有効活用できていないというのはご指摘のとおりである。
<A外部有識者> ・次期計画における「定性的評価（言葉による評価）」の導入について、単なる物理的数値的なカウントだけでなく、住民の認識の変化や、将来に向けた「種まき」を指標化する挑戦をするならば、自治体として画期的であり評価できる。
<事務局> ・ご助言いただきながら、引続き検討したい。
<A委員> ・「ほどよい田舎」の維持には、医療への不安解消が不可欠である。 ・救急搬送時に医療圏の違いから、近接する千歳市へ運ばれず、遠方の苫小牧まで時間を要する現状を憂慮している。
<事務局> ・広域による医療体制の連携強化を引続き図っていきたい。
<E委員> ・病院の少なさといったハード面の弱さを、役場職員、社教、介護関係者等の「人の温かさ」や手厚いフォローが補っていると実感している。 ・コミュニティの強さを、町の魅力として積極的に発信すべきである
<事務局> ・本日ここにご参加の委員各位のご尽力もあり、現在の安平町が形成されているものと

	実感する。 <C外部有識者> ・シマエナガやエゾモモンガ、エゾアカゲラ等の希少生物が身近に生息している実態を報告。子供たちと一緒に巣箱や水飲み場を作るなど、自然と共生する体験を町のブランド力として活用すべきとした。 ・LINE活用を主目的としたスマホ教室の有効性を強調。単なる操作学習ではなく、高校生が講師となり高齢者に教える「多世代交流」の場にすることで、将来的な遠隔診療への適応やQOL（生活の質）向上に繋げることができる。 <事務局> ・ご指摘いただいた、「ほどよい田舎」のポテンシャルを活かしていきたい。 ・いただいた情報を参考にしながら、引続き進めて参りたい。 <C委員> ・事務局案のキャッチコピーに関し、文章的で印象に残りづらい。 ・安平町らしさ（人を育む、取り残さない、雰囲気を継承する等）を凝縮し、短く刺さるフレーズにする必要があると、個人的には考えている。 <事務局> ・引き続き、各所との議論を踏まえながら、内容をブラッシュアップしていきたい。 <u>6 その他</u> ◇全体的な質問等について <質問者> ・特になし。 <u>7 閉会（17：10）</u> 以上
--	--